

国際物流シンポジウム企画書（案）

国際物流シンポジウム

－大阪湾から更なる広域連携を目指して－

開催趣旨

関西では、産学官が共同して国際物流の競争力強化に取り組むため、全国に先駆け平成17年に「国際物流戦略チーム」が立ち上げられました。平成19年3月には、「港と港の連携」「港と道路の連携」「海港と空港の連携」を柱とする提言が取りまとめられ、関係者が一丸となった取り組みが進められています。

なかでも、「港と港の連携」においては、大阪湾諸港の包括的連携の強化に向けて精力的に取り組んだ結果、平成19年12月、関係法令が改正され、大阪湾諸港の一開港化が実現しました。

今後、これを包括的連携の第一歩と捉え、将来の「大阪湾ポートオーソリティー」等も視野に入れつつ、「関西一丸！アジアとともに更なる飛躍を」を合言葉として、更なる広域連携を進めるため、近畿として取り組むべき方向性についても検討していく必要があります。

今回のシンポジウムでは、以上のようなテーマについて、各界の有識者が一堂に会し、ディスカッションします。

主催：国際物流戦略チーム

日程：平成20年3月頃（土or日or月）

場所：大阪市内（1,000名規模を想定）

構成：2時間程度

開会挨拶

来賓挨拶

基調講演 － 国際競争力強化を目指した広域連携のあり方（仮） －

パネルディスカッション － 大阪湾から更なる広域連携を目指して －

コーディネーター：黒田 勝彦 神戸市立工業高等専門学校長

パネリスト： 今後、要調整